

宮崎県在京経営者会議だより

第3号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
事務局/養毛俊雄
〒102-0084
東京都千代田区二番町11-10
麹町山王マンション206号

「胎動する新世紀に向かつて」

宮崎県在京経営者会議

会長 高山弘憲



ここに新首相が誕生しました。さて、当会議も会員各位

政治に対するうっ積した閉塞感と危機感が一気に表に出て、不利といわれた小泉自民党総裁候補が圧勝し、

21世紀年初の「省庁改論」とともに、いよいよ「政治改革」「経済改革」の期待感が高まっております。小参列する栄に浴しましたが、先般の「米州自由貿易団」構想実現への道筋が承認され、将来10兆ドルのビック市場が到来することに驚嘆い

幼なじみが営んでいる民宿で地鶏を焼いて食いながら焼酎を飲んだ。東京で数年間暮らしたことがあるその幼なじみは、東京にいるとき高千穂の草の匂いが恋しくてずっと帰りたいと思つてたと言ひ、夜、酒を飲んでの帰り道、公衆電話を見つければ、思わずそのボックスに飛び込んだと言つた。十円を入れ、高千穂の局番をダイヤルする。家に電話しようというのではない。金のなかつた幼なじみは、たつた十円ばかりで故郷の声とながくつながっていられる方法を思ひつき、一番のあとに104をダイヤルしたのだ。

まつている、いつ半身不随になつてもおかしくないと医者に言われ、大好きな山登りも禁じられたその日の午後、アケボノツツジを見たいと父が言うので二上山に車でこのほり、山頂まで尾根道を歩いた。帰り際「また来るよ」と満開の薄桃色の花々に呼びかける父の背中を見て、来年もまたほんとうに来れたらいいと思ひ、一途な色の流れに手をあわせ祈つた。

第31回大宅壮一ノンフィクション賞受賞
作家 高山文彦
(高千穂町出身)

帰郷

ふるさとへは、たびたび帰る。これを書いているいまも、高千穂鉄道に揺られている。ちよつと高千穂鉄橋にさしかかつたところだ。実家をおとにし、宮崎へ向かう。宮崎では高千穂に伝わる「鬼八伝説」をオペラ化したという人たちの顔合せがある。タカチホ、たかは、高千穂



……東京にもどれば「わが高千穂」という連載が待っている。

帰りたいと思つたことはい。いつも自分は高千穂に「在行つた。脳が萎縮し血管が詰

「あん頃は交換手は地元の人間が出よつたもんな。おれ、番号訊くわけじゃなしに、自己紹介して、高千穂の天気はどうですか、夜神楽はどことも盛況ですかつて訊くわけよ。そんげこんげしやるうちに、十円で百円分ぐらしいやべつてしまふわけ」父が困つたような顔で笑つていた。呆けがはじました父を、おまえが東京に行つておらんあいだはおれを息子と思つ

て、心配事があつたらなんでも言つてきてくれつて」と。くだいほど、そいつはくり返した。
私は高千穂に抱きしめられ、高千穂を抱きしめる。

高山文彦の主な経歴

- 1958年 3月7日宮崎県高千穂町に生まれる
- 1977年 法政大学文学部哲学科入学
- 1982年 NTV映像センター嘱託
- 1984年 大下(大下英治氏)事務所へ
- 1992年 事務所を独立
- 1995年 「いのちの器」を処女出版
- 1996年 「惨殺された富士フィルム専務が遺した手紙」で第二回雑誌ジャーナリズム賞作品賞を受賞
- 1999年 「少年A「家族の風景」」で第五回雑誌ジャーナリズム賞作品賞を受賞
- 2000年 『火花』第31回大宅壮一賞
第22回講談社ノンフィクション賞をダブル受賞



私の会社をPRします

(株)九州屋

代表取締役 島田 修



株式会社九州屋は昭和49年11月に、トラックで野菜の引き売りを始めたのが創業となります。翌年4月には、東京都八王子市に1号店となる1坪の青果店をオープン致しました。現在は野菜・果物専門店として、全国主要都市の百貨店・駅ビル・SM等を中心に70

店舗を展開しております。商売の基本は、「お客様がすべて」を経営理念に、鮮度・品揃え・味・品質にこだわりを持ち、値ごろ感を大切にしております。現在の売上高は20億円で日本一の野菜・果物専門店となりましたが、常にワンランク上を目指し、真の日本一を目指しております。

また、商品面では4月に当社専用の大規模な配送センターを国立市にオープン致しました。これまで難しかった全国的な仕入れや海外商品の輸入を行い、品揃えの更なる充実をはかっています。さらには、来年度を目標に店頭上場を予定しております。

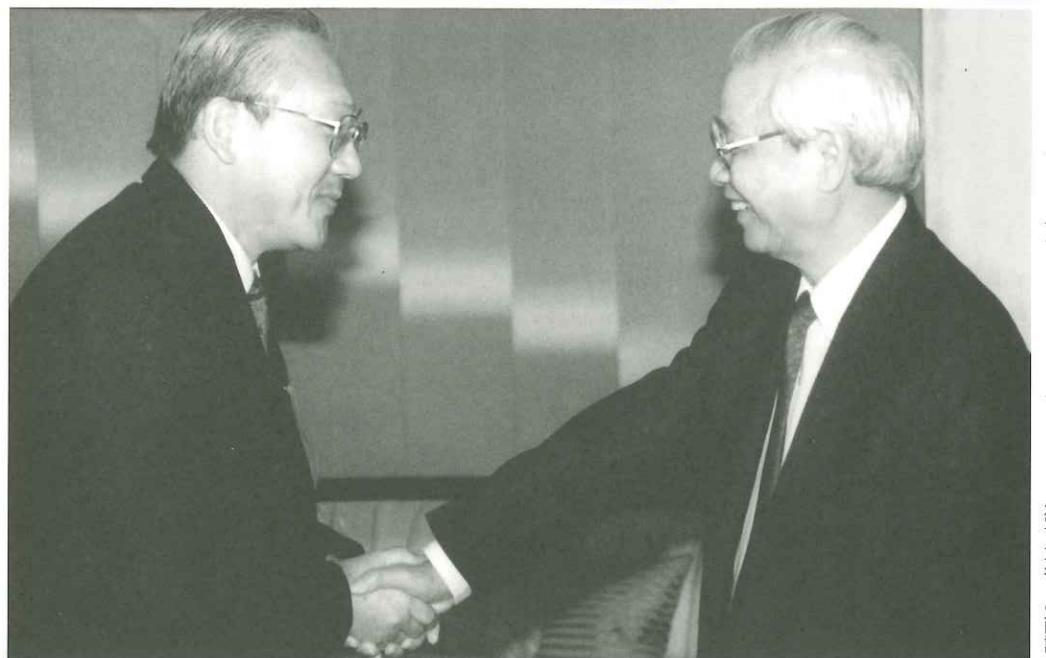
平成13年度のキャッチフレーズは「感性を磨こう！お客様に感動を！本気と本音で革新にチャレンジ!!」です。これからもお客様に本物の商売を提供していきたいと考えております。

毎週講義を行っております。



九州屋本社

ベトナム首相として初来日をされたポー・バン・ケイ・ト氏(写真左)との面談



吉越物産(株)

代表取締役 吉川 憲章

主旨とし、下記の如き取引アイテムの拡大を計りながら、今日に至りました。

1970～1973年

弊社は1970年4月の設立で、今年で満31年を迎えます。

当社の設立はベトナムとの友好と貿易の発展拡大を

はまだアメリカ軍の北爆の

次期でもあり、当然の事な

がら、取引額も少なく、契

約は出来ても諸々の障害も

あり、契約の実効が伴わな

い苦しい時期もありましたが、1975年のベトナムの統一、1976年の日本との国交樹立等を経て、急速な経済発展をとげています。昨今のベトナム政府のによる外資導入拡大の為の環境整備が進められている状況下、更なる発展が予想されます。弊社も、韓国三星物産・東部農薬とJ/Vを組み、100%出資による農薬生産工場の投資事業に参加する事を決定しました。来年度生産に向け諸準備をしている所です。

今後中小規模中心に投資事業を拡大したいと念じております。

1993年3月25日 日本政府公賓として訪日したベトナム首相ポー・バン・ケイエト閣下に関するVietnam Newsの記事から抜粋

3月25日午後、ポー・バン・ケイエト首相とその一行はソニーの情報機器の展示会を訪問した。同日、三井、伊藤忠、日商岩井、丸紅、三菱石油、日本工営と吉越物産などの実業界のリーダー達の表敬訪問をケイエト首相は受け、和やかな会話を通して、ベトナムへの更なる協力と投資を推進する為これからのビジネスマン達に協力を依頼した。

大新産業(株)

代表取締役社長 岩崎 誠司



プラスチック成型の設計・製作、成形加工とシルク印刷などの二次加工からサブ組み立てまで一貫生産

創業以来、37年間プラスチックの成形加工二筋に取り組んで来た。カメラ部品から始まり現在は事務機の精密プラスチック部品の成形をメインとしている。常にCS経営を追求、提案型の企業をめざす。グローバル競争に打ち勝つ為、生産性と品質の向上改革に取り組み、成果を挙げている。中でも350トン成形機の金型交換のシングル段取りに成功、得意先からも注目された。ほかにエッチング加工を施した金属片とプラスチックの一体成形による精密多数個取り生産で、低コスト化を図るなど、差別化技術に取り組んでいる。EQCD(環境、品質、コスト、納期)の面で競争力のある企業であれば必ず21世紀に生き残れるという信念から、1工場で既にISO14001を取得した。子孫により良き地球環境を残せる様、企業の責任を果たしていきたい。

創業以来、37年間プラスチックの成形加工二筋に取り組んで来た。カメラ部品から始まり現在は事務機の精密プラスチック部品の成形をメインとしている。常にCS経営を追求、提案型の企業をめざす。グローバル競争に打ち勝つ為、生産性と品質の向上改革に取り組み、成果を挙げている。中でも350トン成形機の金型交換のシングル段取りに成功、得意先からも注目された。ほかにエッチング加工を施した金属片とプラスチックの一体成形による精密多数個取り生産で、低コスト化を図るなど、差別化技術に取り組んでいる。EQCD(環境、品質、コスト、納期)の面で競争力のある企業であれば必ず21世紀に生き残れるという信念から、1工場で既にISO14001を取得した。子孫により良き地球環境を残せる様、企業の責任を果たしていきたい。



福島工場



宮崎工場

工場は伊勢原工場(神奈川県)、宮崎工場(宮崎県)、阿見工場(茨城県)、福島工場(福島県)、South Tech, Inc.(米)にあります。

(有) 鈴由

代表取締役 鈴木 由紀



ワーショップを経営しております。

平成8年、26歳の時に脱OLでフラワーショップを始め、今年でようやく5年目を迎えることができました。個人営業で始めたのですが、平成10年には法人化することができました。

営業内容としては、店頭販売が主流で売上の8割を占めます。取扱商品としては、「花束」「アレンジメント」「花鉢」「観葉植物」「蘭鉢」等々お花に関するものは全てです。店舗販売以外の仕事としては、舞台装飾、店舗ディスプレイ、ガーデニング、ブライダル装飾等と幅広いお仕事を頂いております。

まだまだ大変未熟な経営者ですが、日にかぼちゃ魂で、邁進中です。

延岡市出身の鈴木由紀です。

新宿区高田馬場にてフラ

日都産業(株) 代表取締役社長 興梠 三男

ISO14001 認証取得
ISO9001に続きダブル取得

日都産業(株)は平成12年11月に、ISO14001(国際環境管理規格)を取得した。平成11年10月に9001を公園施設業界で初めて取得したが、今回の14001取得で業界初のダブル取得となる。認

証取得を機に新たなスタート企業責任のあり方として環境への取り組みを積極的に進め、地域環境、業界環境、さらには地球環境の保全に貢献する企業として21世紀に挑戦していきます。

【宮崎県東京物産観光センターからのお知らせ】

宮崎県東京物産観光センター 所長 田尻 徳明

■宮崎県東京物産観光センターの所在地が4月から変わりました。

(新) 〒102-0074 千代田区九段南4-8-2 宮崎県東京ビル2F
電話03-3512-0135 FAX03-3263-9011

※なお、新宿宮崎館コネは(社団法人)宮崎県物産振興センターに運営を委託して、そのまま営業をしておりますので、よろしく願致します。

■4月の人事異動で所員の顔ぶれが変わりました。

(新) 日高正憲 観光・コンベンション課長(社会援護課から)
宮口健嗣 観光・コンベンション課主査(会計課から)
林田宏昭 流通対策課主査(畜産課から)

なお、お世話になりました次の方は県本庁に帰りました。
日高一興 観光・観光コンベンション課主査(土木部管理課へ)
日高正憲 流通対策課主査(農産園芸課へ)

専門部の活動

観光・物産部会

宮崎観光視察団の成果について

実行委員長 河野 昭

二日目は自由なオプショナルでゴルフ組はフェニックス・CC寒雨中のラウンドで残念至極、県北旅行組でも季節はずれの寒気と雨に閉口したようでした。

年頭から在京経営者会議の懸案事項であった宮崎観光物産振興を促進するため専門部会を中心に立案し実行して参りました。

4月20日から3日間に亘り宮崎観光視察団を結成し、山会長を団長とする80数名が訪宮することにになりました。その日は初夏の季節を思わせるさんさんと輝く太陽の下目に眩しい山々の新緑、プルシャンブルの海原が私達を迎えてくれました。空港では県商工労働部次長、中馬章一氏の歓迎の挨拶、ミス・サンフラワー嬢らの花束の贈呈など花々しいセレモニーが催された後、二台のバスに分乗、観光視察へと向かいました。第一班は自然探訪、綾の酒泉の杜で照葉樹林の緑のシャワーを浴び、第二班は歴史探訪西都原古墳群めぐり、その規模の雄大さに神代の國日向を想像させてくれました。

三日目は前日と打って変わったような上天気温かく本来の宮崎天気となり、ゴルフ組も県南旅行組も大満足、大感激の連続でした。「大きな感動は生涯のうちには滅多にないことだが、マイナー・エクスタシーは人それぞれに味わうことが出来る。このような小さな感動を多く持っている人は幸福である」と云う。大小様々であると思うが参加者全員が「来てよかった!すばらしかった。また来たい!!知らない人に味合せたい!!」と異口同音に感動を率直に語ってくれました。

県人達は新生宮崎の発展的躍動を同伴友人達は素晴らしい豊かな自然と人の良さを認識されたものと思えます。これからの「口コミ」が如何なるメディアよりも大きな財産となつて効果を発揮することでありましょう。21世紀の幕開けにふさわ

しい実の多い旅でありました。宮崎県及び市の援助、活性化協会、商工会議所、観光協会の協賛、皆様方の温かい献身的なホスピタリティがあつたからこそ、これほどの感動を覚えたものと心より厚く御礼申し上げます。

観光実態セミナーに参加

副部長 坂 佳代子



4月20日、視察団一行は、県中央部観光実態視察、シーガイア視察し、コンベンションのマーブルルーム会議室にて、宮崎県の観光の実態セミナーの受講をした。

講師は、観光・リゾート課長の戸高栄作氏。会場の国際会議室は重厚、明るく

気品ある落ついた雰囲気の一部屋である。机上には、要領よくまとめられた冊子「宮崎県の観光等の現状と課題について」が置いてある。用意周到で、まず宮崎の実態とそれに対する活性化、発展への努力している姿勢がひしひしと感じとれる。

戸高氏の講演内容は、昭和40年〜平成11年迄の観光客の流れから始まった。

興味を持ったのは、昭和40年にNHK連続ドラマ「たまゆら」は、宮崎が舞台になった。このドラマの影響により新婚旅行ブームとなった。頂点は昭和49年で全国新婚旅行者約百万組のうち、37万組が宮崎市を訪問しその後、沖縄等の離島ブームや円高による海外旅行ブームとなり、低迷していたが、空路がANAの他にJASやJAL就航し、シーガイアのオープンで増加した。国内観光地との競争激化で若干減少傾向で、宮崎県の観光・リゾートは再生の時を迎えている。社会構造の変化、旅行ニーズの多様化で特色のある個性的な観光ルートづくりや、温泉保養やスポーツレクリエーションなど体験型旅行、インターネット等による観光情報ルートサービス体制や誘致

宣伝方法の充実を課題にしている。私達視察団は、宮崎県在京者の皆様にもそのことを是非伝えて下に宿泊した。戸高氏から「シーガイアについて、会社更生法を申請したことで、もう営業をしていないのではな

いかと思っている人もいます。協力して行きたいと思いが、一日も休まず、予約も一日2000人程あり問題の報告と致しました。

宮崎観光視察ツアーに参加して



宮崎観光視察団一行

神秘的な高千穂

木村 由子

昨日の晴天から三転して、大雨の中シーガイア45を8時に出発し、シーガイアICから南国ムードいっぱい二ツ葉有料道路を通り北へ向かいました。バスでの長が旅なので覚悟して出発しましたが、車窓から見える自然がいつばいの景色と多数のきれいな花々と延岡からは五ヶ瀬川と、緑り深くなる山々を眺めながら日之影町青雲橋を渡るころには、時間のたつのも忘れるくらいで、高千穂町三田井を眼下にした時は、とても神秘的で感動しました。

観光スポット・見どころとしてぜひおすすめしたいのは、高千穂峡の遊舗道を神話の歴史と溪谷ならではの大自然のオゾンを感じながら歩き、歴史の時をゆったり感じるのも良いと思えます。又は国見ヶ丘で神話の神々と二緒に、祖母山・阿蘇連山を一望しながらの森林浴を、楽しんで心も体もいやされて良いかと思えます。雨の中の観光で十分な観光は、できなかった気もしますが、皆様から宮崎は食べ物がおいしいし自然がたっぷり残っていることと、宮崎の人の人の良さに感動され「また宮崎にきます」と言ってもらい、大変喜んでもらえたコースだったのではと思

が感心の始まりで、次々に展開する景観に賞讃、驚嘆の連続の一日でした。子供の国のフラワーフェスティバル、青島のピロー樹林、干潮で露出した鬼の洗濯板、そして圧巻は堀切峠の眼前に広がる雲つない青空の下の日向灘、展望百八十度のエメラルドグリーンの海原、地球の丸さを実感させられる地平線の壮大さ、海外のどの観光地にも劣らない世界一の景観との賞讃の声も聞かれました。サボテン園、断崖絶壁の大洞窟の中の鶴戸神宮、猪崎鼻で格別な海の幸の昼食、そして飢肥城、小村寿太郎侯の史跡等の見学を最後に県南の素晴らしい観光の一日に二行大満足でした。特に鶴戸神宮では杉田宮司の歓待を受け神宮の由来説明、昭和天皇皇后の御休憩室の案内、おちち飴にお茶の接待を受けて感激。又猪崎尋では北川日南市長の歓迎を受けて会食歓談。飢肥城では職員による伊東家由来の詳細説明を受けて感謝。市長との懇談の折、県外者の感想として「宮崎は遠い感じだったが来てみれば案外近い。日南海岸の景色は世界に誇れる景観であり、青島から神武天皇に至る神話、飢



高千穂峡

日南海岸の景観世界一

清水 恵一

前日の雨が去り、快晴の観光日和の二十一日日曜日。

総勢十八名。ほとんどが宮崎は始めての県外者。保全の行き届いた街路樹、高々と伸びた中央帯のピロー樹の三百万円以上もする話

肥城にまつわる史実等大へん豊富な観光資源に恵れている。然し、全国に余り知られていないのは宣伝不足ではないか」等貴重な意見も拝聴できた。日南市長自ら職員も含めての歓迎はその行動そのものが観光誘致の実践であり、県内で一番の元気を感ずる日南の源であると感心し納得した。

シーガイアの地元宮崎市の生れ育ちである私にとつて外相サミット後の新装宮崎を知りたく期待して参加したが予想以上に素晴らしい観光宮崎を見直す体験が出来た感動的な一日でした。シーガイアを早急に再建し国際観光宮崎の更なる発展を期待致します。



日南海岸の猪崎鼻の景観

知産権部会

弁護士 重信 和男

定例的に行われている知産権部会は、7、8名のレギュラーメンバーを中心に1ヶ月から2ヶ月一回のペースで開催され、宮崎の発展及び宮崎県出身者のために知産権部会として何が出来るかをメインの検討課題に位置づけ議論しております。

この知産権部会の存在意義は大きく二つの使命があると考えます。一つは、地元元宮崎の発展、たとえば地元元宮崎の生産品やサービスブランドの保護をはかつていく知的財産権の活用、もう一つは在京経営者の知的財産権戦略の支援ではないかと考えられます。ただし、我々はその知的権部会の活動を、特許をとつたり商標を登録したりするのみの活動とは考えず、宮崎県民及び宮崎県出身者を対象とした商品戦略の支援など可能な限り活動範囲を広げたいと考えています。

利用するものを、あえて新潟コシヒカリ、あきたこまち、宮城ササニシキなどの米を使つて熊本で焼酎を造り、全国的に販売したことが非常に売り上げに貢献したとのことですが(都城出身者でもある料亭「千代」の代表の話)。

焼酎ばかりではなく宮崎の産品を、各県から来ている人々の集合体である東京などの巨大マーケットにどのように浸透させるか。地元のものに愛着を持つ我々宮崎県人同様、他県も地元意識に関して引けを取らないことを考えれば、宮崎の水や蒸留技術と他県の農産物、他県の醸造技術と宮崎の農産物、などの組み合わせも考えたらどうでしょうか。たとえば宮崎と北海道との組み合わせなども可能です。日本全土を相手にする知的財産戦略を考える時期ではないでしょうか。

求人・求職相談部会

部長 山中 祥弘

前回の会議で話題になった「メルシャンの焼酎戦略」を掻い摘んで紹介します。これはメルシャンが熊本の焼酎を全国に販売するのに、営者会議の主催で5月19日、ハリウッド美容専門学校に

昨年引き続き2回目の求人説明会を、宮崎県在京経営者会議の主催で5月19日、ハリウッド美容専門学校に



於て、宮崎県教育庁、宮崎県内公立高校・大学校合わせて23校と、在京経営者会議側関連企業16社の参加の下に、首都圏就職希望者を支援するために開催された。

午前は企業側の事業内容、求人内容の説明に始まり、各学校の紹介があった。午後からは、各企業と学校側との個別相談を行なった。各学校の進路指導部の先生方は、各企業と熱心に質疑応答を交わされていた。

今後この部会を更に充実させ、郷土後輩の首都圏活躍の場を拡大すべく、会員の皆様のご協力を得ながら活動していきます。

法律相談室

弁護士 相葉 和良

近年、激化してきた企業間の国際的競争に対応するため、企業の事業再編・組織再編に関する数多くの商法改正や関連法律の立法がなされています。

会社の合併手続の合理化、簡素化を目的とした商法改正、純粹持株会社を解禁した独禁法改正、株式交換・株式移転制度を創設した商法改正、そして昨年に行われた会社分割制度の創設を内容とする商法改正等がそれで、また、近く、株式会社取締役会や監査役制度の改正も見込まれています。

このように、企業及びその経営者を巡る環境は、経済的・技術的にだけでなく、法律的にも急激に変化・進行しており、経営者には時代に即応した責任ある経営が望まれる状況となっています。

当法律相談部会は、会員の皆様のそのような企業等を巡る環境の中で発生した法律問題について、少しでもお役に立てればと考えております。

この一年を振り返って

私たちは、“高い志”と“限らない夢”をもち相互理解のもと、平成12年度は次のような活動を行って来ました。平成13年度は、相互に一層の切磋琢磨を重ね、会の信頼性や協調性を高める活動を行って参ります。皆さんの積極的な参加をお願い致します。

事務局長 蓑毛俊雄

主な会議

- 4月21日(金) 第一回役員会 於:宮崎県東京ビル
議題:平成12年度定期総会に向けて
- 5月19日(金) 平成12年度定期総会 於:グランドアーク半蔵門
出席者:102名
- 6月26日(月) 宮崎産業活性化協会設立総会 於:宮崎観光ホテル
当会より参加者:三役ほか8名
- 7月25日(金) 第2回役員会 於:学生情報センター
議題:秋期経済セミナー開催の件ほか
- 9月8日(金) 第3回役員会 於:J/P会議室
議題:専門部会設置の件ほか
- 11月21日(金) 第4回役員会 於:J/P会議室
議題:事業計画進捗状況の件ほか
- 3月6日(火) 第5回役員会 於:J/P会議室
議題:専門部会活動状況の件ほか
- 3月14日(水) 三役・観光物産振興部会 於:J/P会議室
議題:宮崎観光視察ツアーの件

主なイベント

- 5月17日(水)~19日(金) 平成12年度第1回新宿郵便局宮崎物産展
後援:日南市
- 7月15日(土) 平成12年度求人説明会
於:ハリウッド美容専門学校
参加者:当会会員21社、宮崎県下の高校・大学28校
- 9月22日(金) 平成12年度秋期経済セミナー
於:恵比須ガーデンプレイス
講師:宮崎公立大学浜野教授、参加者:56名
- 10月18日(水)~20日(金) 平成12年度第2回新宿郵便局宮崎物産展
後援:宮崎産業活性化協会
- 10月18日(水) 宮崎産業活性化協会との交流会
於:恵比須ガーデンプレイス
当会参加者:20名、宮崎産業活性化協会:47名
- 12月12日(火) 忘年会 於:銀座レストラン・モルチェ
参加者:31名
- 1月25日(木) 平成13年度新年賀詞交換会
於:グランドアーク半蔵門 出席者:101名

事務局ニュース

事務局長 蓑毛 俊雄

先般の“宮崎観光視察ツアー”は、大変好評でした。ご協力頂いた皆さんに改めて心から感謝申し上げます。

私は、年に数回堀切峠を通り実家の日南市に帰りますが、今回ほどその景観の素晴らしさに感動したことはありませんでした。それは、初めて参加された県外の女性の皆さんが口々に感動の言葉を発せられたからです。「また行きたい!」との声も多く聞かれたので事務局では、広く皆さん方の要望に応えていきたいと思えます。

間もなく、参加された皆さんに「体験ツアー」のアンケートをお願い致します。皆さんに「体験ツアー」のアンケートをお願い致します。

編集後記

第3号を発刊するにあたり、各専門部会の活動も一段と活発になり充実してきました。お陰様で記事の内容も豊富になり、予定のページ数も増えてきました。

そして今回から経営者の方の会社紹介を追加しました。順次会員各位の企業をPRし、今後益々発展され、経営者会議の活性化につながればとご期待申し上げます。

広報部長 杉本 幸一